

4/14 国際農業工学

農業農村整備事業とは「水と土を相手に、自然との共生を図りながら営まれている農業を支援するため、水田に必要な農業用水を確保するためのダムや堰の建設、営農条件を改善するための水田、畑の整備、農産物などを運搬するための農業用道路の整備、農村の環境整備などを行っている事業」のことであり、農業水利施設の建設や道路の敷設といったハード面での拡充を図ることをその主目的としています。また、近年ではかつて戦後から高度経済成長期に整備されたインフラの老朽化も目立ってきており、その管理、補修という点も大きな仕事となっています。その中で建設コンサルタントはそうしたインフラ整備に加えて、防災や環境保護といった様々なプロジェクトを農水省などの行政の要請に応じる形で引き受けて計画、設計から業務委託、施工管理そして点検までを一貫して担います。そのため土木技術はもちろんのこと、土壌や水などの自然環境に関する専門知識を扱い、各方面のステークホルダー、地域社会との連携が要求されます。

今回の講義で印象に残ったキーワードはストックマネジメントという言葉です。ストックマネジメントとは生産活動に係る設備、構造物であるストック部分の維持管理、運用を考慮することで短期的には整備費用としての出費がかかるものの、ライフサイクルコストを抑えて長期的に安定した運営を可能とするものです。現在、高度経済成長期に建設された様々な設備が耐用限界を迎えており、それに伴う事故も頻発しています。しかし、昨今の経済事情から大規模な建設計画を組み立てるほどの余裕はなく、今ある設備をいかに有効活用していくかということにシフトしています。今回扱われたような農業設備もその一つで点検や補修をいち早く行って未然に事故を防止するとともに、管理、運用を最適化していくことで長く大切に使うようにしてあるということでした。今後この分野と関わっていくとしたときに国内においては最も大きな仕事内容となるでしょうし、現にそうなりつつあるということもあってキーワードとして印象に残りました。

参考

農林水産省 <http://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/nn/>

<http://www.maff.go.jp/j/nousin/mizu/sutomane/pdf/torikumi.pdf>

NTC コンサルタンツ http://www.ntc-c.co.jp/g1_01.html

太陽建設コンサルタント http://www.taiyocc.co.jp/c_Stockasset.htm